



スーパーカブ・リトルカブ用 Dタイプ

LCDスピード&タコメーター キット 取扱説明書

商品番号：09 01 0059

適応車種及びフレーム番号

リトルカブ	スーパーカブ
: AA01 3500001 ~	: C50 0200001 ~ 0573585
: AA01 3000001 ~	: C50 0600001 ~
: C50 4300001 ~	: C50 0800001 ~
	: C50 2100001 ~
	: AA01 1000001 ~

但し、6V車両及び、スーパーカブ50スーパーカスタム系には使用出来ません。

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
 この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
 当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
 補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

⚠ 注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
 (法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
 (部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
 (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
 (そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
 クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
 この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

~ご注意下さい~

液晶の性質として、長い時間、直射日光を受けると画面が真っ黒になってしまいます。
 なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付けて下さい。

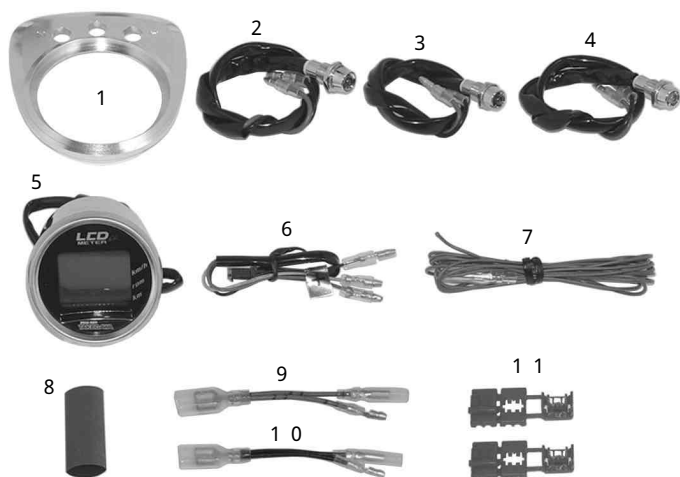
本製品は完全防水ではありません。

湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が侵入し画面がくもってしまう可能性があります。

バッテリー、プラグ、配線の状態(取り回しや接続状況)によってはメーター数値表示の乱れ等、不具合が生じる可能性があります。
 バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動時等に瞬数値表示に乱れを生じることがありますが故障ではありません。またメーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、距離表示や回転数表示等に間違った情報を表示してしまう可能性があります。

装着時は各部(特に配線、点火系、バッテリー)の点検をしっかりと行い装着後も必ず定期的に点検をして下さい。

～商品内容～



番号	部品名	個数
1	メーターホルダー	1
2	インジケータランプ(グリーン)	1
3	インジケータランプ(ブルー)	1
4	インジケータランプ(オレンジ)	1
5	DタイプLCDメーター本体(専用ステ-付き)	1
6	電源用配線	1
7	パルス入力配線	1
8	熱収縮チューブ	1
9	サブコード(グリーン)	1
10	サブコード(ブラック)	1
11	エレクトロタップ	2

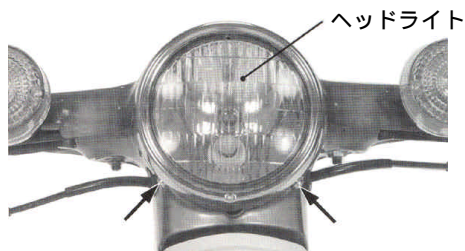
11番(エレクトロタップ)は、ブルーのインジケータを4速インジケータとして使用する場合は1個、ハイビームのインジケータとして使用する場合は2個使用します。

～取り付け要領～

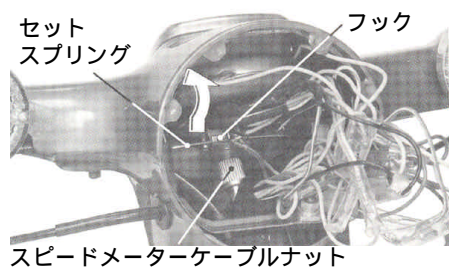
本取扱説明書は、スーパーカブを基準に作業及び説明を行っています。リトルカブに取り付けられる場合は、純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行ってください。

～純正メーターの取り外し～

1. 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. ヘッドライト取り付けボルトを外し、ヘッドライトを取り外し、ワイヤーハーネスの結線を外します。



3. スピードメーターの各ランプの配線をギボシ端子部より外します。
4. スピードメーターケーブルナットを外し、スピードメーターケーブルをメーターから分離します。
(ケーブルナットをステアリングステムの中に落とさない様に注意して下さい。)



5. スピードメーターセットスプリングをフックから外し、スピードメーターを取り外します。

～タコメーター パルス入力線の取り付け～

1. タコメーター作動用に、ヘッドライトハウジング内のメーター取り付け位置から、イグニッションコイル周辺までパルス入力線(茶色)を通します。

2. スロットルケーブルや車両側ハーネス類と同じ様にステムを通していきます。
必要に応じてフロントトップカバーやフロントカバー類を外して作業を行ってください。
3. ステアリングを左右に切り、配線の噛み込み等がないか確認して下さい。
必要に応じてタイラップやビニールテープで、パルス入力配線を固定して下さい。
4. イグニッションコイルのハイテンションコードに、パルス入力線を巻き付け固定します。
詳細は、別紙配線図をご参照下さい。
5. カバー類を外した場合は元通り組み付けます。

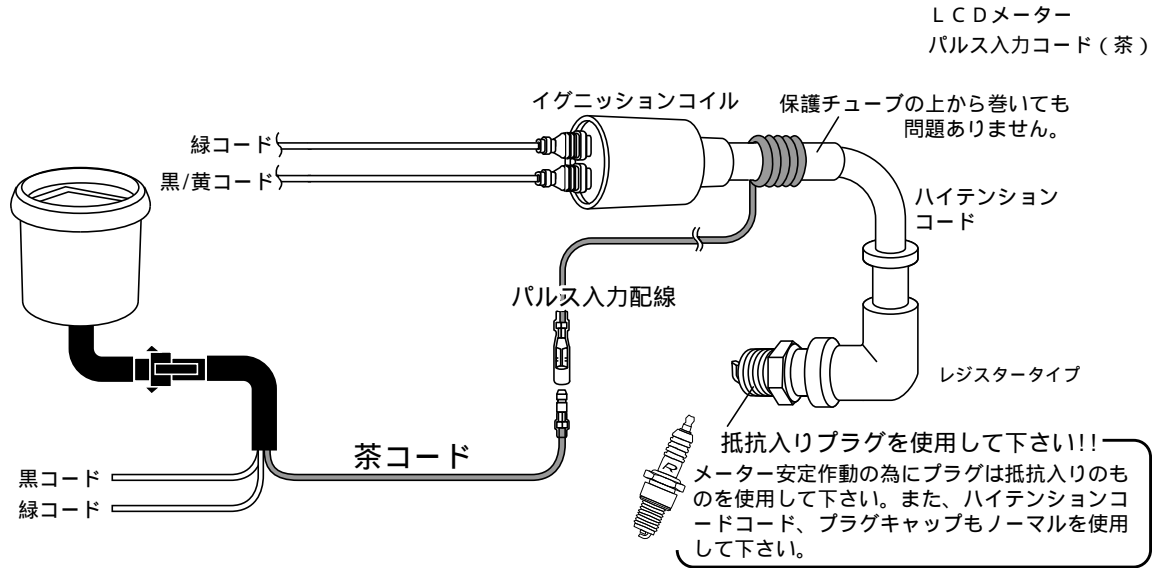
～LCDメーターの取り付け～

1. 本キットのメーターホルダーにインジケータを取り付けます。
ホルダーを真上から見て、左から緑・青・オレンジの順番に組み付けて下さい。
2. メーターホルダーに、LCDメーターをはめ込み、ホルダーに純正ラバーを取り付け、車両にセットします。



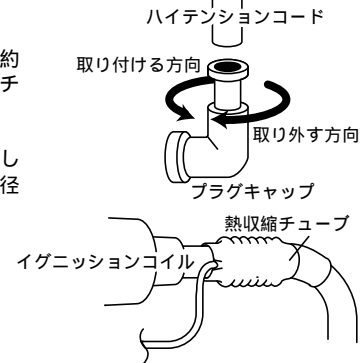
3. 純正メーターが固定されていたのと同じ様に、純正スプリングをメーター裏のフックに掛けます。
4. スピードメーターケーブルをメーターに差し込み、ケーブルナットを締め付けます。
5. インジケータとLCDメーターの配線を接続します。
詳細は別紙配線図をご参照下さい。
6. ヘッドライトを元通り組み付けます。
7. 走行前に必ず動作確認を行ってください。
メインキーONで電源が入ります。(ブルーのバックライトが点灯してからデジタル表示が出るまで約5秒ほど時間が掛かります。)

～パルス入力配線の接続～



ハイテンションコードに巻きつける方法

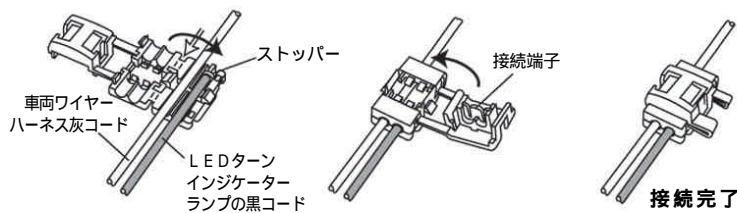
- ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
- ・付属のパルス入力配線をハイテンションコードのイグニッションコイルに近い方で約5周巻きつけ、絶縁テープなどでたるまないよう仮止めして下さい。あとで熱収縮チューブを通しますのでテープの巻き過ぎで太くならないように注意して下さい。
- ・ハイテンションコードの保護チューブの上から巻いても問題ありません。
- ・テープで配線を仮止めしている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤーなどで熱しチューブを収縮させて下さい。チューブの収縮温度は90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
- ・最後にプラグキャップをしっかりと取り付けて下さい。



危険

タンクにガソリンがあり、大変危険ですので、ライターなどの火を使いチューブを収縮させることは絶対に止めて下さい。

～エレクトロタップの接続方法～



接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(LED側の配線をしっかりとストッパーに当てて下さい。)

部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>